

西洋史概説Ⅱ（教職）

科目ナンバリング ESS-104
選択 2単位

工藤 則光

1. 授業の概要(ねらい)

西洋史概説Ⅰに引き続いて、ヨーロッパおよび南北アメリカの通史を講義する。具体的には、該当事項について高等学校学習指導要領(地理歴史編)に従って概観した後で、歴史学の研究成果に基づいて教科書には書かれていないが、歴史理解に必要である重要な側面をできるだけ紹介する。

2. 授業の到達目標

1. 西洋史について基本的知識を獲得し、それらを説明できる。
2. 高校世界史BおよびAの西洋史部分について自信をもって教えることができる。
3. 世の中の動きを歴史的に考えるための視点を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

小レポート・小テスト40%、期末テスト60%

- ①小レポートは基本的に授業中のリアクション・ペーパー(原則毎回実施)のことである。
- ②小テストは履修者数にもよるが、原則毎月実施する。主に教科書から出題する。
- ③期末テストは定期試験日となることもある。

4. 教科書・参考文献

教科書

帝国書院編集部編 『最新世界史図説タペストリー 十八訂版』(2020年)

帝国書院

参考文献

小川幸司 『世界史との対話 70時間の歴史批評』全3巻(2011～2012年) 地歴社

5. 準備学習の内容

概説書、DVDなど理解を深めることができる教材を紹介するので、事前に読んだり見たりするとよい。

6. その他履修上の注意事項

- ①教科書として使用する『最新世界史図説タペストリー』は高校時代に用いた版でもよい。
- ②世界史教科書(A・B)を再読すること。
- ③履修人数によるが、グループワークなどの作業も行うこともある。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス:①授業の目的と進め方など、②西洋史概説Ⅰの復習

【第2回】 IV.近代
1.アメリカ合衆国独立とフランス革命

【第3回】 IV.近代
2.産業革命と社会問題ロシア帝国

【第4回】 IV.近代
3.19世紀ヨーロッパと国民国家

【第5回】 IV.近代
4.アメリカ合衆国の発展

【第6回】 特論⑤:ロシア帝国

【第7回】 特論⑥:近代史に関する近年の歴史学の成果および動向

【第8回】 V.現代
1.第一次世界大戦とロシア革命

【第9回】 V.現代
2.第二次世界大戦

【第10回】 特論⑦:ラテン・アメリカの歴史

【第11回】 特論⑧:アフリカの歴史

【第12回】 V.現代
3.トルコ革命とパレスティナ

【第13回】 V.現代
4.冷戦とその終結

【第14回】 特論⑨:現代史に関する近年の歴史学の成果および動向

【第15回】 まとめと期末テスト